



岩五だより



江戸川区立小岩第五中学校
令和7年度 学校だより

～ 9月号 ～

令和7年 9月 1日発行

～新学期がスタートします～

校長 前本 大智

処暑の候、いつまでも暑さが去りやらぬ毎日ですが、本校関係者の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。本日からまた、新たに新学期が始まりました。小岩五中の生徒の皆さんが元気な姿で登校してくれたことを、心より嬉しく思います。

この夏は、記録的な猛暑が続き、熱中症対策や体調管理が例年以上に必要となりました。ご家庭では、保護者の皆様のご協力のもと、健康面に十分配慮しながら、安全に夏休みを過ごせましたことに感謝申し上げます。

さて今回の夏休みは、暦の関係で、最大44日間という長いものでした。夏休みに入っすぐに、2年生の林間学校がありました。今年度は福島県會津方面にて行いました。會津磐梯山のふもとで、大自然に触れる体験活動を通して、自立心を養い、集団生活によって健全な心身の形成の一助とし、中学生として豊かな心を育むことを目的として実施しました。2泊3日の行程で、従来の林間学校の施設（民間旅館施設）とは違い、自分たちが率先して行動や工夫をしないとイケない施設での体験は、大変貴重な経験をもたらしてくれました。それは、生徒にとってはもちろんですが、我々教職員にとっても非常によい経験となりました。今までのあたりまえと感じていたことに対し、自分たちで創意工夫と準備をして初めて活動ができることに、気づきと感謝の気持ちを改めてもつことができました。2年生の皆さんは、2学期の自分の日常生活において困難な場面に出会ったときに思い出せるといいなと思います。

また、夏休み期間に多くの運動部においては、夏季大会を最後に区切りを迎える3年生の姿がありました。それぞれの競技に取り組み、自分の精一杯を出そうと頑張った3年生の皆さん、感動をありがとう。そして、本当にご苦労様でした。9月中旬には、修学旅行（金沢・京都方面）があります。中学校生活の宿泊学習の集大成です。一人ひとりの心に残る修学旅行にいきましょう。この修学旅行が終われば、3年生の皆さんは、自分を深くみつめなおし、自分で考えた進路に挑戦していくことになります。中学校生活の最後の総仕上げの準備期間が、これから始まる2学期ともいえます。小岩五中の最上級生として、3年生が学校生活に取り組む姿勢と内に秘めた熱い心を感じさせる存在であることは、1年生、2年生の後輩たちにとっても頼もしく誇らしい気持ちになります。そのことを胸において、一人ひとりがそれぞれ自分らしい学校生活になるよう一緒に頑張りましょう。

1年生の皆さんは、初めての中学校の夏休みをどのように感じたでしょうか。小学校と違い、慣れない環境で過ごすことに、戸惑いを感じた人もいることでしょう。夏休みは、少しゆったりとした気持ちでのんびり生活できていればと思います。自分のペースで、失敗と成功を繰り返しながら、徐々に中学生らしくなっていきます。わからないことをそのままにするのではなく、解決のヒントを見つけるために行動できる2学期になるようにしていきましょう。

